

「原子力討論会イン九州工業大学 2017」 事後アンケート結果
(平成 30 年 1 月 26 日開催)

纏め：梶村 順二

*参加者（アンケート回収数 30）

		機械知能工学研究系工学専攻 M1	計	
学 生	就 職	原子力関連メーカー	1	30
		電 力	0	
		メーカー	25	
		研究機関	0	
		教育機関	0	
		そ の 他	4	
		未 定	0	
	進 学	0		
	未 記 入	0		

(1) 講演の内容は満足いくものでしたか？その理由は？



[とても満足した]

- ・疑問を概ね解消できた。
- ・普段、会う機会のない分野の技術者から、メディア以外の情報という点で話を聞いたので良かった。
- ・知らなかったことをたくさん知れたため。
- ・理路整然とした説明がとても分かりやすかった。
- ・原発についての知識が深まる内容だった。
- ・原子力について基本的なところをカバーして頂き、後の対話につなげることができた。
- ・これまで知らなかったことを学ぶことができ、とても満足した。
- ・新しい知見を得ることができた、また、そのきっかけになった。
- ・原発について、ある程度理解できたから。
- ・原子力発電所の必要性を学ぶことができたため。
- ・専門家の話をわかりやすく聞くことができた。
- ・原発、そして原発を取り巻く環境について、非常にわかりやすく、理解が楽であった。
- ・原発に関する正しい知識を有識者のもとで学ぶことができた。

- 原発に対する意見を色々な視点から聞いて良かった。
- 問題点と現状、課題を幅広く理解することができた。

[ある程度満足した]

- 内容は非常に参考になるものであった（シニア3人は少し多い気がする）。
- 質問にちゃんと答えてくれた。
- 配布プリント内の文字が少し見づらかった。
- 原子力専門のシニアの方のお話を聞くことができた。

[やや不満だ]

- 自分の都合により、最後まで拝聴できなかったため。

(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？



[とても満足した]

- 普段、会う機会のない分野の技術者から、メディア以外の情報という点で話を聞けたので良かった。
- 理論的に判断できる情報が多くあった。
- とても熱心に教えてもらった。
- 知っているつもり、考えているつもりのことたくさんあって、エネルギーについて考える良い機会だった。
- 原子力、そして技術者として大先輩である方々の話を聞いて、新たに気付くことが多くあった。
- 自分が疑問に思っていることを解決することができた。
- 普段、聞くことのできない話を聞くことができた。
- 専門家の意見が聞けたから。
- 自分達の疑問点について分かりやすく、親身に接してもらい非常に有意義だった。

[ある程度満足した]

- 学生側の都合で時間が取れず申し訳ない。
- もう少し時間がほしかった。

[やや不満だ]

- ファシリテーション形式に不満。
- 自分の都合により、最後まで拝聴できなかったため。

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？



[十分に聞くことができた]

- 対話での質問に、むしろ困った。
- 丁寧な返答と、プラスαの問いかけをもらい、より多くのことが聞けたと思う。
- 丁寧に回答してもらい、物事の理解につながった。
- 質問一つ一つに親身になって答えてくれたから。
- 分かりやすく返答してもらった。
- 事前に、質問に対する回答をもらって良かった。当日も多くの質問に答えてもらった。
- 地元の信頼の獲得は、情報提供が大切であることを知った。

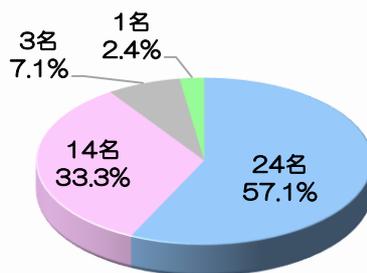
[ある程度聞くことができた]

- 学生側の都合で時間が取れず、時間不足。
- 途中、都合により中座してしまったので。
- あまり時間がなかったため。
- 福島原発で何が起こったか、もう少し詳しく知りたかった。
- 時間が少し短かった。

[あまり聞けなかった]

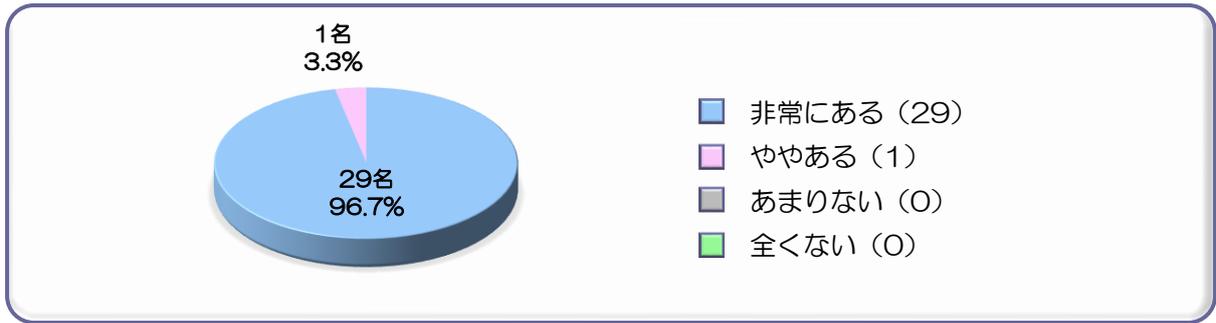
- 時間がたりなかったため。
- 時間が無くてすみません。
- 自分の都合により、最後まで拝聴できなかったため。

(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？



- 新しい知見が得られた (24)
- マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった (14)
- 自分の将来の進路の参考になった (3)
- 教育指導の参考になった (1)
- 特に新しい知見は得られなかった (0)
- その他 (0)

(5)「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？



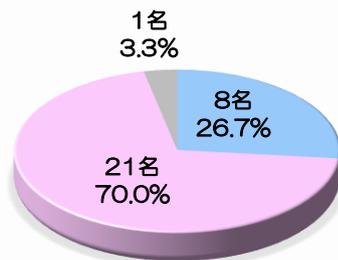
[非常にある]

- 正しい知識を身につけるのに重要。
- 対話会に参加しない人は、マスコミのみが情報源であること。
- 話に説得力があった。
- やはり一線にいた人たちの話は、ネット等で知れる情報には載っていないため。
- 基調講演だけでなく、自分の考えを話し答えてもらう場があって、とても理解が深まった。
- 現場を経験した方であるからこそ、聞ける話が多いと思う。
- 新しい考え方に触れることで、視野を広げることになる。
- 生の声を聞けるから。
- 考え方の参考になるから。
- 周りに原子力発電所の知識がある人がいないから。
- 企業に勤めた経験が非常に豊富なので、様々な深い知識を得られるから。
- 実際に話を聞かないと分からないことがあるから。
- 専門家の知識を継承する必要があるから。
- 資料を見て得る知識の量とは比べものにならないくらい対話は有意義であり、多くのことを学ぶことが出来た。
- 普段聞けない話が聞ける。
- テレビ等の報道やネット上の情報だけでは得ることのできない情報・知識を理解することができるため。
- 知らないことがたくさんあると感じた。
- 実際に経験してきた方々の考えはなかなか聞けないので、良い機会になると思うから。

[ややある]

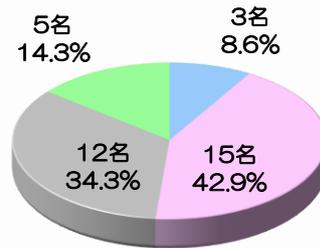
- 今後、安全性を確保していくため、原子力分野で私たちの世代が働くにせよ、廃炉技術の向上のために働くにせよ、そのモノの考え方は伝えていく必要があると思われるので。

(6) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？



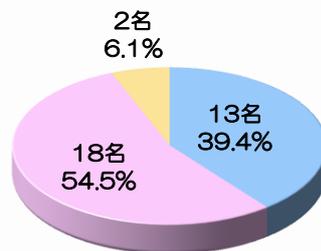
- まだまだ話したりないので参加したい (8)
- もっと知識を増やしてから参加したい (21)
- 十分話ができたらもういい (1)
- 二度も必要ないと思うからもういい (0)
- その他 (0)

(7) 放射線、放射能に対してどのようなイメージを持っていますか？（複数回答も可）



- ①放射線、放射能はやはり怖い（3）
- ②一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた（15）
- ③一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた（12）
- ④放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた（5）

- (8) 日本のエネルギー政策では、原子力発電を基幹電力（2030年に発電電力量の20～22%）とし、省エネ・再エネ利用の拡大や火力の高効率化により、可能な限り削減していくとされています。対話も含めてあなたの認識は次のどれですか？その理由は？（複数回答も可）



- ①原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない（13）
- ②原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった（18）
- ③原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ（0）
- ④原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい（0）
- ⑤その他（2）

[① 原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない]

- ・原発をなくすデメリットがよく分かったから。
- ・やはり経済的問題がある。（①、②選択）
- ・化石燃料が枯渇する可能性、経済的な問題について、エネルギーリテラシーやリスクリテラシーと照らし合わせて考える必要があると思う。
- ・経済、資源面を考えると、今後も原発は必要であると思った。
- ・原発の安全性を認識できた。エネルギー供給の安定の観点からも必要。
- ・他の発電方法に比べて利点が多いため。

[② 原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった]

- ・経済性や省エネの観点から原発の必要性はあると考えていたが、今一度、原発のライフサイクルを全て見渡した上での経済性を見直す必要性もあるように思う、安全性も担保した上で採算がとれるのか、甘い見積もりでやってはいけない問題だと考える。しかし、それを踏まえても原子力のもたらすエネルギーなくして成立しない分野があるようにも思う。（②、⑤選択）
- ・エネルギー需要に応えるためには無くしてはいけないのではないかと思う。
- ・現在の日本のエネルギー事情を考えるなら、原子力は必要だと思う。火力発電が衰退産業なので、何かで代替していかなければならない。
- ・エネルギー資源の観点から原発は必要であると考え。
- ・コスト、将来性、効率など多くの項目を考えても、原子力は不可欠であると思う。

[⑤ その他]

- ・原子力発電を極度に恐れ、削減しようとする事は間違いであると感じた。しかし、100%信用することも間違いだと思う。

(9) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・本日は、寒風吹きすさぶ中、ご足労頂きありがとうございました。普段、研究の中で原子力分野の方とお会いする機会はほとんどなかったので、大変貴重なお話を聞くことができて良かった。
 - ・原子力利用について理解が深まるだけでなく、今後研究などに活かせる観点を持つことができ有意義だった。対話についても楽しませてもらった。ありがとうございました。
 - ・私はやはりメディアの情報によって、原子力発電を何も知ることなく廃止すべきだと心のどこかで感じていた。しかし、対話会を通して、昨今の動向、エネルギー問題、廃棄物処理等について聞き、安全性の確立された技術であるなと深く感じた。だが、技術に100%というものはなく、火力発電との差は、万一の事故があった際に、食い止める事の難しさにあると考えている。過度に信用せず、より安全な原発、並びに他のエネルギー技術を開発し続けることが大切であると思った。普段、聞くことのない話を専門家の方々から近い距離で聞くことができ、大変貴重で楽しい会だった。
 - ・対話会は参加できなかったのが残念だったが、講演会だけでも、とても面白く知見を広げることができた。
 - ・有意義なモノになった。
 - ・対話会を通して原発の必要性和リスクも理解することができた。非常に楽しく、今後の参考にしたい。
 - ・非常に有意義であり、楽しい時間だった。シニアの方々、本当にありがとうございました。
 - ・事情があって途中参加となってしまった。そのため、講演が聞けず非常に残念だった。次回は必ず通して参加したい。
 - ・対話に参加できなかったのは残念だったが、講演で原子力の未来を考えることができて良かった。ありがとうございました。
 - ・テレビやネット上の情報による偏見がなくなった。講演内容にもあったように、世間、一般の方に原子力発電の必要性、安全性を理解してもらうことが最大の課題であると改めて強く感じた。
 - ・今回は、最初から最後まで居ることができなかったため、もったいなかったという気持ちが強いので、また、このような機会があれば積極的に参加していきたいと思う。
-
- ・ファシリテーション形式が不満だった。